



再利用がなるべく出来る様に家庭科室にキッチンを設置しました。

この校舎の利用目的を、サービス付高齢者住宅としていますが、この“サービス”はどの範囲にするかを定める事は、優先事項だと考えます。食事にしても、3食を提供するのか、あるいは2食、1食かです。誰かが付いて自炊という事も考えられえます。

暖房のことを考えれば、スペースは小さい方が良いと思いますので、個室の需要が少ない場合は、2階の個室を無くして作業スペースとして、ワーキングスペースのある連絡棟の方は、冬季は閉じた方がよいと思います。勿論、需要が多い場合は、個室の数を増やす事も出来ます。

基本的に、1階を個人のスペース、2階をここに住む人々が活動をする、共有なスペースと考えました。

個室の数に余裕があれば、訪問者が泊まる事もできると思います。